

北海道電力の電気料金再値上げについて

北海道知事 高橋はるみ

1 北電における取組

(1) 聖域なきコスト見直しによる経営の合理化・効率化

前回は大幅に上回る再度の値上げ申請であることを十分に踏まえ、あらゆる分野で聖域を設けず最大限の企業努力を重ね、経営のさらなる合理化・効率化に向け不断に取り組むこと。

(2) 道民・事業者の方々への丁寧かつわかりやすい説明

再値上げの理由、積算根拠、経営状況や効率化の取組について、道民・事業者の方々へ丁寧かつわかりやすい説明を尽くすとともに、省エネ・コンサルなどの実施により、値上げによる負担増の抑制に取り組むこと。

(3) 安定供給の確保への万全の備え

冬に需要のピークを迎える道内において、電力需給の安定確保について万全を期すこと。また、様々な変化に対応できるよう、中長期的視点に立って、電源の多様化を進めること。

2 国における取組

(1) 厳正な審査とわかりやすい情報提供

幅広い意見の聴取と合わせ、経営効率化の徹底を前提とした厳正な審査と国民へのわかりやすい情報提供を行うこと。

(2) 電気料金再値上げによる影響緩和

省エネ施策の充実や自家発電設備導入に対する支援の実施など、電気料金値上げに伴う影響緩和策について検討すること。

(3) エネルギー政策の推進

新たな「エネルギー基本計画」に基づき、望ましい電源構成のあり方を国民に分かりやすく示すとともに、地域の実情に配慮した電力システム改革を進めること。